

## 第二次下野市男女共同参画プラン数値目標進捗状況

### 【基本目標 I】 あらゆる分野において女性が活躍できる環境づくり

#### ●施策の方向 I - 1 男女が共に働き続けられる職場づくりへの支援

女性が生涯を通じて経済的に自立し、働き続けながら安心して子どもを産み育てることができる多様で柔軟な働き方の実現をめざし、企業や事業主等に向けて、男女が共に働きやすい職場づくりなど、男女共同参画の積極的な取組を促進するよう啓発活動を進めます。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
職場での募集や採用において男女が平等となっていると思う市民の割合	51.9%	※	57%

#### ▶▶市役所における管理職の在職状況（部長・課長職） （各年 4 月 1 日現在）

	基準値 H26 年度	H29 年度	H30 年度
管理職総数	40 人	40 人	43 人
うち女性管理職数	4 人	6 人	8 人
女性比率	10.0%	15%	18.6%
県内市町の女性比率平均	9.0%	11.5%	12.4%

#### ●施策の方向 I - 2 意思決定の場への女性の参画拡大

市審議会等委員への女性の参画を推進し、政策や方針決定過程への女性の参画を拡大するとともに、職場や地域活動の場における女性の参画を促進し、意思決定の場に多様な視点を取り入れます。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
市の審議会等委員における女性の割合	33.6%	34%	40%

#### ▶▶市の審議会等への参画状況 （各年 4 月 1 日現在）

	H26 年度	H29 年度	H30 年度
審議会等数	58	53	49
うち女性のいる審議会等数	50	43	41
総委員数	821 人	703 人	653 人
うち女性委員数	276 人	244 人	222 人
女性比率	33.6%	34.7%	34%
県内市町の女性比率平均	29.7%	31.1%	31.4%

●施策の方向 I - 3 男女が共に担う地域社会づくりへの支援

男女が共に住み慣れた地域で豊かに暮らすため、地域活動において、その個性や能力を発揮するとともに、意思決定過程に参画できる環境を整備し、多様な視点を活かします。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
自治会活動など地域活動の場において男女が平等となっていると思う市民の割合	31.5%	※	40%

▶▶自治会長への参画状況

(各年4月1日現在)

	H26 年度	H29 年度*	H30 年度
自治会長総数	146 人	149 人	149 人
うち女性自治会長数	8 人	11 人	9 人
女性比率	5.5%	7.4%	6.0%
県内市町の女性比率平均	1.9%	2.6%	2.6%

\*昨年度実績値に誤りがあったため、訂正しています。

## 【基本目標Ⅱ】 女性の活躍を支える基盤づくり

### ●施策の方向Ⅱ－１ 男女の活躍を支える子育て支援サービスの充実

男女が共に自らが希望するワーク・ライフ・バランスを進めるため、多様な働き方や子育てニーズなどに対応したきめこまやかな子育て支援サービスを充実するとともに、地域全体で子育て支援に取り組みます。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
保育所の待機児童数	1 人	0 人	0 人
乳幼児健康診査対象児の状況把握の割合	100%	100%	100%

### ●施策の方向Ⅱ－２ 男女の活躍を支える介護サービスの充実

男女が共に仕事など自らの活動と高齢者や障がいのある人の介護・介助の両立を図ることができるよう、介護・介助に対する環境整備や制度活用、周囲の理解促進を図り、地域全体で介護・介助支援に取り組める環境を整備します。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
家族の介護を理由にやむを得ず仕事を辞めたことがある市民の割合	4.5%	※	0%
家族介護支援事業の実施回数	年 12 回	年 18 回	年 15 回

### ●施策の方向Ⅱ－３ 困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備

ひとり親家庭、高齢者、障がいのある人、外国人や性同一性障がい者等など様々な困難に置かれている男女が安心して暮らせるよう、経済的な自立支援、各種サービスの充実など、関係機関との連携を強化しつつ多方面からの環境の整備を行います。

指 標	基準値 H26 年度	H29 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
地域ふれあいサロンの設置数	14 か所	27 か所	40 か所	23 か所
婦人相談員兼母子・父子自立支援員の配置	1 人	2 人	2 人	2 人
指定特定相談事業所数	5 か所	5 か所	8 か所	7 か所

●施策の方向Ⅱ－４ 性別や年代に応じた心身の健康づくりへの支援

生涯を健康に暮らせるよう、男女がその健康状態や思春期、妊娠・出産期、更年期、高齢期等のライフステージに応じ、生涯を通して的確に自己管理ができるよう支援するとともに、性差を踏まえた心身の健康づくりや生活習慣病の予防に向けた支援を行います。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を知っている、または聞いたことがある市民の割合	21.7%	※	27%
乳がん検診の受診率	31.1%	37.8%	60%以上

## 【基本目標Ⅲ】 男女共同参画の実現に向けた意識づくり

### ●施策の方向Ⅲ－１ 男女共同参画に関する教育・啓発や意識・機運づくり

男女共同参画が正しく理解されるよう、男女共同参画に関する情報提供、啓発活動やあらゆる機会を通じた教育・学習機会を提供します。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
社会全体において男女が平等となっていると思う市民の割合	12.2%	※	18%
男女共同参画のつどいの若年層（40代まで）の参加割合の増加	20.6%	36.9%	30%

### ●施策の方向Ⅲ－２ 男女間のあらゆる暴力の根絶

あらゆる暴力を根絶し、人権を尊重するため、DV防止対策と被害者への支援を行うとともに、ハラスメントやストーカー防止対策を推進します。

指 標	基準値 H26 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
下野市女性相談（DV）ホットラインを知っている市民の割合	17.0%	※	25%
殴る、蹴る、物をなげつけることもDVに含まれると知っている市民の割合	89.0%	※	100%

#### ▶▶市におけるDV相談件数

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
DV相談（来庁及び電話）	41 件	24 件	24 件	42 件
うちDVホットラインによる相談	14 件	5 件	6 件	11 件

### ●施策の方向Ⅲ－３ 国際的な視点からの男女共同参画の推進

男女共同参画の実現を国際的な課題としてとらえ、国際的な視点から男女共同参画を理解できるよう、男女共同参画のための国際情報を収集し提供するとともに、国際交流を進めます。

指 標	基準値 H26 年度	H29 年度	現状値 H30 年度	目標値 R2 年度
中学生の海外交流派遣事業応募者数	16 人	22 人	-	20 人

\*3年ごとに実施予定

○指標中の「※」・・・市民アンケート未実施のため空欄